

## 授業イメージをつくりましょう

|                  |   |
|------------------|---|
|                  | 小学校   |
| 教科・領域等           | 国語  |
| 授業タイトル・<br>単元名等  | 登場人物の様子や気持ちを考えて音読する<br>『ごんぎつね』  |
| 対象学年             | 4年生   |
| 実施場所             | 教室  |
| I C T活用授業<br>の内容 | <p><b>授業のねらい</b></p> <p>登場人物の気持ちや情景が聞き手に伝わるように、表現を工夫して音読できる。</p> <p><b>授業の流れ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 登場人物の気持ちを聞き手に伝えるには、どのような表現の工夫が必要か話し合う。</li> <li>2. 自分が音読したい場面を選択する。</li> <li>3. 音読をし、友だちにデジタルカメラの動画映像で撮影してもらう。</li> <li>4. 撮影した音読の動画映像をコンピュータに入れる。</li> <li>5. コンピュータに入れた動画映像を再生し、自分の音読の自己評価をする。<br/>コンピュータに入れた友だちの朗読を再生し、評価（相互評価）をする。</li> <li>6. 自己評価、相互評価をもとに、自分の課題を設定する。</li> <li>7. 自分の課題を意識して、音読の練習をする。</li> <li>8. 練習後、再度友だちに音読の様子をデジタルカメラの動画映像で撮影してもらう。</li> <li>9. コンピュータに入れた、最初の音読、練習後の音読を聞き比べ良くなった点や、今後の課題をつかむ。</li> </ol> <p><b>I C Tのねらいと授業での位置づけ</b></p> <p>コンピュータ・デジタルカメラを使うことで、自分の音読の様子を客観的にふり返り、評価することで、練習に役立てる。自分のめあてに到達しているかどうか自己評価でき、進歩の状況をつかむことができるので 児童は意欲的に学習に取り組むことができる。</p> |
| 活用する I C T       | デジカメ。コンピューター。   |